

阪神V

星野監督7度舞った!!

「甲子園で胴上げされたかった」



9月15日
月曜日
2003年(平成15年)
PM11:00

写真18年ぶりの
リーグ優勝を決め、ナ
インに胴上げされる
阪神星野監督(共同)

阪神が15日、18年ぶり優勝を決めた。その瞬間、選手たちは弾けるようにベンチを飛び出した。充血した目に選手、コーチ、ファンの姿が染みる。島野ヘッドコーチの肩を抱きしめ、星野監督は歓喜のグラウンドに向かった。

今季の戦いを象徴するような粘り強いサヨナラ勝ち。背番号77が7度、宙に舞った。「選手を信じていた。本当によくやってくれた。ありがとう」。身を預けることのできる幸せ。「この甲子園でみんなの前で胴上げされたかった。そして、縦じまのユニホームで祝福される喜びをかみしめていた。

熱狂の輪から視線を一瞬外した。「もう一度、パパの胴上げが見たいね」。そう言い残して6年前に亡くなった扶沙子夫人の遺影が見詰めていた。名古屋時代の思い出にけじめもつけられた。

今は阪神監督として心から喜べる。次の目標は日本一。「ここが相手だろうと、選手を信じて頑張ります」と高らかに宣言した。

写真11(上)ビールを
かけられ大喜びの阪神
星野監督(中)優勝
トロフィーを手に喜ぶ
アリアス(左から2人
目)ら阪神ナインら
(下)ペナントを持って
球場内を一周する阪神
チーム

